

高齢社会における アクションリサーチ の可能性

JST社会技術研究開発センター（RISTEX）における研究開発領域「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」では、高齢社会が直面している課題を解決するために、コミュニティとの協働による取り組みを進める中で、「アクションリサーチ」という研究手法を推奨してきました。

しかし、アクションリサーチは、その方法論がまだ十分に確立されているわけではありません。そこで本領域では、コミュニティにおけるアクションリサーチの方法論を体系化し、科学的研究として論文にまとめる手法を提示することを目的に議論を重ねて、その成果として『高齢社会のアクションリサーチ』を出版いたしました。

このたびのイベントでは、本書でも取り上げたアクションリサーチの事例を紹介するとともに、アクションリサーチの意義や課題について、皆さんと一緒に考えていきます。研究者や院生だけでなく、自治体職員、市民、企業人など地域の課題解決に取り組む方々はぜひ奮ってご参加ください（当日、割引価格にて書籍の即売会を行います）。

《概要》

- 日時 2015年11月10日（火） 15:00～17:00（懇親会17:30～19:00）
場所 JST東京本部別館1階ホール（東京都千代田区五番町7 K's五番町ビル）
主催 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）／一般財団法人東京大学出版会
定員 120名程度（事前登録制）
参加費 無料（懇親会は会費制 1,000円／人）

《プログラム》

- 15:00～15:05 開会挨拶
秋山弘子（東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授）
- 15:05～15:25 本書の紹介
冷水 豊（日本福祉大学 地域ケア研究推進センター 研究フェロー）
- 15:25～16:15 アクションリサーチの事例紹介
野藤 悠（公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所）
中林美奈子（富山大学大学院医学薬学研究部 准教授）
- 16:15～16:30 話題提供
矢守克也（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター センター長）
- 16:30～17:00 パネルディスカッション
野藤 悠／中林美奈子／矢守克也
袖井孝子（お茶の水女子大学 名誉教授） [ファシリテーター]
- 17:00 閉会挨拶
17:30～19:00 懇親会（会費制）

《お申し込み先》

お申し込み方法、詳細は下記HPをご覧ください。
<http://www.ristex.jp/korei/03event/actionresearch/program.html>

《問い合わせ先》

国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域事務局
E-mail: otoiawase-korei@ristex.jst.go.jp



高齢社会のアクションリサーチ
新たなコミュニティ創りをめざして
JST社会技術研究開発センター・
秋山 弘子 [編著]

ISBN978-4-13-062412-1
B5判・並製カバー・224頁
本体2,800円＋税

高齢社会の アクションリサーチ

新たなコミュニティ創りをめざして

JST社会技術研究開発センター・秋山弘子 ― [編著]

高齢社会の課題を解決するために、アクションリサーチ（研究者と関与者との協働による探索的プロセス）というアプローチが注目を集めている。本書は、このアクションリサーチを通して、高齢社会の新たなコミュニティを創るためのガイドブックである。「課題の発見」「方策の計画」「解決策の実行」「結果の評価」「他のコミュニティへの波及」「成果の公表」にかかわる方法を具体例とともに解説する。研究者、院生、行政職員、企業、NPO関係者に必携！

*科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センターにおける研究開発領域「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」（2010～2015年度）の成果。

〈主要目次〉

はじめに（秋山弘子）	第5章 高齢社会のコミュニティにおける アクションリサーチの論文のまとめ方（井上剛伸）
序章 高齢社会のコミュニティ創りとアクションリサーチ（秋山弘子） 高齢社会の課題と可能性／社会課題の解決に資する研究／コミュニティにおけるアクションリサーチ／アクションリサーチの魅力／本書の目的と概要	コミュニティでのアクションリサーチの論文の特徴／論文の種類／論文（博士論文など）における留意点／学会誌への投稿論文、研究報告における留意点
第1章 高齢社会のコミュニティにおける アクションリサーチとは何か（冷水豊、岡本憲之） コミュニティでのアクションリサーチの基本的要素／アクションリサーチの系譜／アクションリサーチの多様性／コミュニティでのアクションリサーチの研究プロセスと研究方法	終章 高齢社会のコミュニティ創りの課題と展望（袖井孝子） 残された課題／めざすべき方向／アクションリサーチャーの養成
第2章 高齢社会のコミュニティにおける課題の発見、 解決のための準備（袖井孝子） 課題を発見する／アクションリサーチに取りかかる前に／研究体制の構築／研究計画を立てる	付録1 JST社会技術研究開発センターのプロジェクト（長島洋介） 研究開発領域とプロジェクトの紹介／プロジェクトの解説
第3章 高齢社会のコミュニティにおける 課題解決に向けた実践（芳賀博） コミュニティの課題とそれを取り巻く地域特性の明確化／課題解決策と実行プログラムの検討／研究経過に伴う情報収集と整理／地域での具体的な実践	付録2 コミュニティにおける アクションリサーチに関する文献紹介（前場康介） 国内文献／海外文献
第4章 高齢社会のコミュニティにおけるアクションリサーチの 成果の評価、波及のための要件（冷水豊） 保健医療・福祉サービス評価から援用した評価の枠組み／先行研究から見たアクションリサーチにおける評価の課題と具体的方法／社会技術研究開発センターのプロジェクトにおけるアクションリサーチの評価／コミュニティでのアクションリサーチにおける評価の特徴と今後の課題／評価を踏まえた成果波及のための諸要件	

〈執筆者一覧〉

秋山弘子（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）
冷水豊（日本福祉大学地域ケア研究推進センター研究フェロー）
岡本憲之（日本シンクタンク・アカデミー理事長）
袖井孝子（お茶の水女子大学名誉教授）
芳賀博（桜美林大学大学院老年学研究科教授）
井上剛伸（国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部部长）
長島洋介（JST社会技術研究開発センター企画運営室アソシエイトフェロー）
前場康介（こころとからだの元気プラザ）
小川晃子（岩手県立大学教授）
木村清一（東京大学高齢社会総合研究機構学術支援専門職員）
野藤悠（公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所）
中林美奈子（富山大学准教授）

【注文書】

書店名・番線	ご注文数	高齢社会のアクションリサーチ 新たなコミュニティ創りをめざして ISBN978-4-13-062412-1 B5判・並製カバー・224頁 本体2,800円＋税	
			お名前 お電話番号
	冊		ご住所